

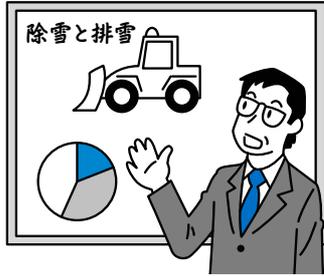
町内会の取り組み

地域の課題に向き合う 「地域と創る冬みち事業」

町内会、除雪事業者、市の三者が集まり、地域の課題を話し合い、共有する事業です。本年度は約300の町内会で開催を予定しています。

[取り組みの流れ]

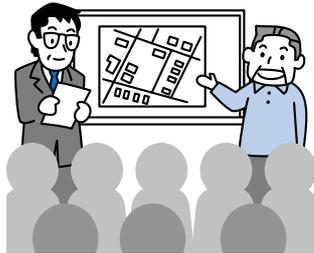
1 市の職員が、除雪・排雪の仕組みや、他の地域で行われた冬みち事業の事例などを紹介します。



2 町内会、除雪事業者、市の三者を交えたグループをつくり、地域の課題とその対応策を議論。出た意見を地図にまとめます。



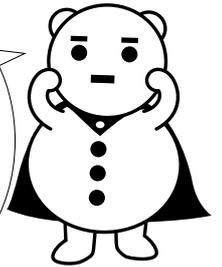
3 グループごとに意見を発表。会議の内容は町内に回覧して、地域全体で情報を共有します。



課題解決に向けて

発表された意見の中で、できることから順次、取り組みを開始します。

みんなで力を
合わせることで
大切なんだな！



手稲区手稲稲山連合町内会の取り組み

路上駐車と道路への雪出しを 取り締まるパトロールを実施

課題

アパート周辺に路上駐車が多く、排雪を行う車両の通行を妨げていました。また、排雪の直後に自宅の敷地や屋根の雪を道路に出す方も少なくありませんでした。



取り組み

警察や市と合同パトロールを実施。路上駐車をしている車に啓発チラシを張るほか、家の前の道路に雪を積んでいる世帯に、道路に雪を出さないよう伝えました。



以前から路上駐車などのマナー違反に対して、住民同士のトラブルを避けたいという思いから、お互いに注意しづらい雰囲気がありました。警察や市と一緒にを行うパトロールは効果的でマナー違反が目に見えて減りましたよ。

手稲稲山連合町内会会長 瀬尾 實さん

町内会独自の取り組みも！ 西区昭和第11町内会

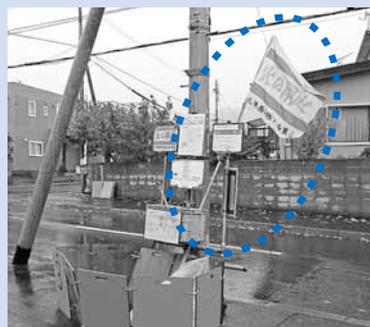
課題

除雪車がゴミステーションに気付かずに雪をかぶせたり、ネットを破いたりすることがありました。

取り組み

目印となる旗を立て、除雪車がゴミステーションの位置を一目で分かるようにしました。

除雪の目印になる旗をゴミステーションに設置



▲旗は町内会にある16カ所全てのごみステーションに設置しています

最初は目印にポールだけを立てる予定でしたが、関係者と話し合い、「火の用心」の旗を立てました。除雪車がゴミステーションに雪をかぶせてしまうことも減り、火の用心の呼び掛けもできるので一石二鳥です。



昭和第11町内会会長 石崎 義治さん